

## 地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第十小学校通学区域
開催日時	平成29年7月18日(火) 午後7時から午後8時40分まで
会場	第十小学校会議棟
参加者	市民9名、地域担当職員3名、合計12名(うち男性10名・女性2名)
(議題等)	
1	コミュニティを作るための方法について
2	その他 ① 次回検討事項について
	② 次回の開催日について
(結論(決定した方針、解決すべき課題、保留事項等))	
コミュニティを作るための方法としては、人と人とのつながりを作ることが肝要であることから、まずは、この会議の中で実践し、徐々に広げていくことに決した。	
その方法は、今回、会員からの得た情報(中原自治会の夏まつり及び中藤保育園「白樺」の運動会の案内)を、他の会員が所属する団体等へ情報提供を行い、次回の会議では、情報提供を行った結果に基づき課題等の検証していくことに決した。また、本会議の開催頻度は、原則3ヵ月に1度とするが、必要に応じて、会議を開催することができるものとした。	
また、次回の会議は、議論が活発に行えるよう、2つのグループに分かれ、まとまって話し合うこととした。	
(会議内容)	
議題1 コミュニティを作るための方法について	
コミュニティを作るための方法について、この会議で改めて方向性を決めることとした。	
以下、コミュニティについての自由意見である。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十小地域における自治会加入率は2割もない。</li> <li>・ 人と人とのつながりがなければコミュニティではない。つながりが少しずつできればコミュニティとして捉えられる。</li> <li>・ 一小地区では、声を掛け合える場があれば、つながるきっかけとなるというアイデアはあった。</li> <li>・ 地域の方から意見を聴きながら進めるほうがよい。</li> <li>・ 中原自治会では、8月5日に夏祭りを予定している。中原以外の地域の子どもも受け入れる方向で話を進めている。ぜひ、遊びに来ていただきたい。</li> <li>・ いきなり何をするというよりも、我々が、十小まつりや、五中フェスティバル等に出ていくこともよい。</li> <li>・ まちづくり会議が何を行う会議なのかわからない。</li> <li>・ 中藤保育園「白樺」では、地域に頼ってもらえるような保育園を目指している。点と点を繋いで線にしたい。また、9月30日に、秋の運動会を開催する。地域の方たちにも参加していただきたい。</li> <li>・ このメンバーで話をしても微妙な距離感がある。</li> </ul>	

- ・ 西部地域包括支援センターでは高齢福祉課から委託を受けている。65歳以上の高齢者の総合相談や地域ケア会議を行っている。昨年から居場所づくりとしてサロン活動に力を入れている。高齢者に限っていうと、ここに子供が入るとよいと考えている。ただし、場所がないのが課題である。当センターでは中原自治会とは良いつながりを持っている。何ができるかを勉強させていただいている。
- ・ 目標を一つに絞れば、まとまると思う。
- ・ 自治会に代わるコミュニティを作ることが目的ではない。
- ・ 大勢で話し合ってもまとまらない。班に分かれて検討を行い、その結果を全体会議で話すのがよい。少人数で十二分に話し合える場にしたい。
- ・ 高齢者と異世代のつながりとか、包括支援センターや保育園が抱える課題を情報収集して情報発信していくこともよい。
- ・ この会議の中で事務局を立ち上げて、情報発信をしていくべきである。
- ・ 事務局メンバーで、定例会の前に、今回はどのような議論をするか打ち合わせを行うようにしたらどうか。
- ・ 今日でた意見を、すぐに行動に移していくべき。次回はその結果を報告するでもよいのではないかと。そうしないといつまでも進まない。
- ・ まずは、今日、集まっているこのメンバー間で、情報交換を行い、他の団体等に情報提供できるものを発信していくべきである。
- ・ この会議の中で、やってみてそれから徐々に広げていくほうがよい。

## 議題2 その他

### ① 次回の検討事項について

情報発信を行った結果についての報告

### ② 次回の開催日について

会議の開催頻度は、原則として3ヵ月に1度とし、何かあった時は必要に応じて開催することに決した。

次回開催日は、平成29年10月10日（火）とした。

（次回予定）

日 時 平成29年10月10日（火） 午後7時から

会 場 第十小学校会議棟

議 題 等 コミュニティを作るための方法について